

# 明けましておめでとうございます

## 皆さんお元気ですか

### 『わ・わ・わ通信』の金子わたるです

# 金子わたるの県政・議会報告 【わ・わ・わ通信】

皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は東日本大震災、原発の事故、急激な円高による景気の停滞など暗いニュースが多い年でしたが、今年はひとつでも多く、皆さまに明るい話題をお届けできるようがんばってまいります。

今年も、渋川市にとっても、渋川総合病院と西群馬病院の統合問題、高崎渋川線バイパスのルート決定、給食センター建設、赤城公民館建て替えなど、地域の将来を左右する問題に取り組む大切な年となります。県議会議員として皆さまの意見をしっかりと聞きながら取り組んでまいります。

『わ・わ・わ通信』新年号をお届けいたします。身近な心配事となつてしまった放射性物質の測定体制や、幹線道路整備、地域の動きをお伝えいたしますので、ご意見・ご要望をお聞かせください。

これからも皆さまとの約束を忘れることなく、掲げた政策実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

新しい年が皆さまにとって素晴らしい年でありませう、ご健康とご多幸をお祈りいたします。

群馬県議会議員 金子 渡



## 12月県議会 補正予算・一般質問

### モニタリングポスト

#### 24台購入 測定強化へ

福島原発事故の放射性物質に対する群馬県の測定体制を報告します。

#### ■空間放射線量

◎モニタリングポスト24基を23年度中に設置（渋川市にも設置）。

◎サーベイメーターを購入し5カ所で定点観測測定、23年9月に149地点で調査を実施。

◎23年8月下旬〜9月上旬に航空機モニタリング調査を実施。

■水質、農畜産物検査

◎ゲルマニウム半導体検出器を衛生環境研究所と企業局に1台、農業技術センターに2台設置。

■学校給食検査

◎精米・小麦粉は（財）群馬県学校給食会で検査を実施。

◎各市町村の給食は学期毎に検査。（渋川市では独自検査実施を検討しています）。

測定結果は県のホームページで公表されていますが、今後不安を払拭し、安心して生活できるよう測定、検査体制の強化に取り組んでいきます。



ゲルマニウム半導体検出器による測定（衛生環境研究所）

### 県有15施設の

#### 指定管理者決まる

県有15施設で、H24年4月から新たな指定管理者が決まりました。

敷島公園は（財）群馬県公園緑地協会から民間へ移行となり、今年度直営となつていました前橋ゴルフ場は（株）フレッセイホールディングスに決定しました。

市内内幸田の『ゆうあいピック記念温水プール』は、これまで同様（社福）群馬県社会福祉事業団となりました。期間は27年3月までの3年間で、指定管理料は1億8350万円（3年分）です。



毎年9月、記念プールで行われるゆうあいフェスティバル

### 正田醤油スタジアム群馬

#### Jリーグ基準対応改修

サスパ草津のホームグラウンドである敷島スタジアムを、J2の新規基準に適合させるために、座席と照明の改修を行います。40cmの座席幅を45cmに広くして1万席設置するのに2億7000万円、グラウンド内全ての照度を1500ルクス以上にするのに8000万円、23・24年度の2カ年事業で総額3億5000万円です。

### 地域医療再生特例交付金

#### 病院統合計画に28億円

国の内示が大幅に遅れていた地域医療再生交付金の渋川総合病院と西群馬病院の統合計画に対する交付額が、28億6100万円に決定しました。新渋川看護専門学校設置にも678万円が交付されます。群馬県は120億円を申請し、46億4858万円の内示と厳しい結果となりましたが、その内28億円強（60%以上）が病院統合計画に配分となりました。

交付金の決定を受け総事業費は117億円に見直されましたが、市は建設負担とインフラ整備で約20億円の支出となる見込みです。

年度内には病院の機能や診療科目、市の負担額等を決め、渋川市と西群馬病院とで基本協定書を交わし、建設予定地の開発協議手続き、建物の設計業務に入っていきます。開院はH27年の予定です。

### 渋川看護専門学校

#### 開設費用の6割を助成

渋川看護専門学校は今年4月から3年制の看護課程へと変更となり新たなスタートとなります。整備に対しての地域医療再生交付金や運営への県助成もあります。学校運営は持ち出しが多い現状で、渋川地区医師会のご尽力に対し敬意と感謝を表します。

募集人員は40名で、3年後には北毛地域の医療の発展を担う看護専門職が誕生します。



渋川看護専門学校（金井）

### 高齢者保健福祉計画

#### 3年間で特養1200床

H24年度から介護保険制度は第5期計画期間（26年度）となり、制度改正、保険料、介護報酬の見直しが行われます。

県は私の一般質問の答弁の中で、要望の強い特別養護老人ホームの整備目標を3年間で1100〜1200床とする方針を示しました。

渋川市も90床の整備を行う計画です。



平成23年12月2日の一般質問

### 産経土木常任委員会

#### 被災地調査を実施

私の所属する『産経土木常任委員会』で、南三陸町、石巻市、仙台空港等の被災地の現地視察を行いました。東北地方整備局では震災直後の対応について説明を受けました。

現地入りは二度目でしたが、ガレキ撤去の現状等を調査し、あらためて津波被害のすごさを実感しました。今後も被災地の復興に向け取り組んでいきます。



東北地方整備局・指令センターでの説明

# 県と渋川の連携いろいろ

約束します。  
身近な県政を  
あなたのそばに

ホームページ

<http://k-wataru.jp>

活動ブログ、  
ほぼ毎日更新中!



## 北橋町鬼ヶ島カーブ 道路改良25m歩道設置

渋川大胡線八崎地内・佐久発電所北の通称・鬼ヶ島カーブは道路の線形を良くし、歩道を設置する工事に取り掛かっています。現在用地買収が行われていますが、来年度以降工事に入り、27年度の開通予定です。

工事延長は552・8mで幅員は10・5m、片側の歩道が2・5mの歩道が設置されます。総事業費は約4・9億円です。



大型車が通ると危険なカーブ

## H25年度開館に向けて 赤城公民館建て替え

赤城公民館は総合支所や旧議会議棟、保健センターを含めた建物・周辺整備の検討がなされてきましたが、旧議会議棟等を使用している団体との調整や建設スケジュールを考慮し、当初計画のとおり公民館のみの建て替えを進めていくこととなりました。

H23年度に利用団体等に説明し、実施設計委託、24年度に解体工事、25年度に建設工事、開館の予定です。

建物は鉄骨造2階建、延床面積1579・25㎡。概算事業費は5億7000万円。併せて合併特例債事業となります。



H25年度開館に向けて 赤城公民館

## 学校給食センター 6500食に見直し

H26年(行幸田、子持)・27年(赤城)の調理開始に向け、給食センター3カ所の整備が始まります。少子化による児童数の減少で当初8000食の計画が6500食に変更し、東日本大震災の影響で節電対策の中、1施設をオール電化からガスを使用する施設に変更としました。

規模を縮小しガス使用に見直すことで初期投資が約2億1000万円、ランニングコストは年間250万円増額となります。



南部給食センター建設予定地(ベトナム行幸田店南有り)

## 子持・中郷・敷島・赤城 橋りょう・道路整備

浅田―敷島間の橋りょう(135m)工事が本格化します。

◎H23年度 赤城側道路、子持側橋台工事

◎H24年度 橋脚・橋台の下部工事

◎H26年度 橋脚・橋台の上部工事

幅員は橋りょう9m、道路9・25m、総事業費は国道17号からの道路改良(浅田地内)250mを含めて約8億円で、合併特例債を使用します。

橋りょうイメージ図(浅田側から見る)



## 小野上地域福祉センター 高齢者施設の充実へ

昨年10月、市に対し『社会福祉施設のあり方に関する報告書』が検討委員会から提出されました。

その中で、『小野上地域福祉センター』『デイサービスセンター』『高齢者地域福祉センター』は指定管理者制度の検討等が提言されていますが、引き続き継続される方針が示されました。地域に不足している施設です。更なる充実をめざします。

## 群馬DCC効果 伊香保温泉5%アップ

伊香保温泉再生事業はH22年度に石段延伸とイベント広場が完成し、23年度は旧ハワイ王国公使別邸の移築に入り、今春の完成予定です。事業費は3990万円。24年度は南側に資料展示室を新築します。

昨年の群馬デステイネーションキャンペーン(7、9月)は、伊香保は前年比105・9%の来客実績となりました。



イベント広場で行われたMM-1フェスティバル

## 渋川警察署

## ベトナム行幸田店南へ移転

ベトナム行幸田店南有地に移転となる渋川警察署は、埋蔵文化財の試掘が行われ、H24年度以降、造成工事、設計委託、建設工事と進みます。新警察署の完成、引越は26年10月12月の予定で、27年には業務開始の予定です。警察署、給食センターの建設に合わせた、周辺道路の12m拡幅工事は先行して市が行います。

## 高崎渋川線バイパス 渋川市内のルート示される 交差点や側道の設置は地元意見を大切に

現在、迂回して通行している高崎市の国道17号間屋町入口から大八木工業団地までの420m区間(高崎イオンモール先の突き当たり)は、今年の3月中旬に4車線が開通となります。金古町前橋伊香保線まで(4・8km)も6月までに、小倉まではH25年3月までに開通の予定です。

小倉(行幸田・とりせん交差点(2・6km)間の第3期区間は、地元自治会にルートが提示されま

した。県は地権者等との協議を踏まえ、24年度から用地買収に入りたいとしています。今後交差点や側道の設置など、地元意見を十分に取り入れるよう県に働きかけていきます。



急ピッチで進む工事 吉岡町・上野田地内

## 上信自動車道渋川西バイパス 住民理解の得られる計画で 豊秋小西交差点に歩道橋設置

上信自動車道渋川西バイパスはH25年度中の4車線化に向けて中村上郷線・中村(石原交差点)間の工事が進んでいます。

地元からは高規格道路化に対し安全対策の要望が出ていますが、豊秋小西交差点は早期の歩道橋設置で県が対応します。

藤ノ木交差点(入沢までの測量も行われ、28年度以降の整備計画でバイパス建設が進んでいます。多くの民家が立ち退きとなる計画で、ルートとなる入沢町内住民や金井本町自治会からは要望書も提出されています。

70%となりませんが、中村上郷線の4車線化や高崎バイパスの進捗を見ながら拡幅工事に入ります。要望のある歩行者・自転車の安全対策は路側帯の拡幅・舗装で対応しました。今後も歩道の先行設置を県に求めています。



歩道が設置される豊秋小西交差点

今後住民理解の得られる計画となるよう皆さんの声を県、国へ届けていきます。県道高渋線拡幅事業(石原(幸田・とりせん)も用地買収は



県道高渋線・路側帯を拡幅



4車線化の進む中村上郷線・JR跨線橋